

事業報告

第43期（平成30年4月から平成31年3月31日まで）

当財団は平成25年3月25日に東京都知事の認定を受け、平成25年4月1日付で公益財団法人として移行後、事業活動も順調に推移しています。

ここに平成30年度の事業活動を報告します。

今期の金融市場は株価等の低迷により、運用収益は予算額・前年度実績共に下回る結果となりました。また基本財産の期末評価損が多額となり、正味財産期末残高は1,010百万円と非常に減額となったものの、事業は計画通り達成することができました。

I. 公益目的事業 総額 37,671,920円

より良い社会の建設に資することを目的に、前途有望な学生・生徒に対する奨学金の給与並びに社会福祉及び芸術文化の分野における助成を行いました。

1. 育英事業への助成 合計 26,275,000円

(1) 奨学金

学術優秀で修学困難な学生、生徒に対する奨学金の給与を行いました。

採用後、以下大学生、短大生（専門学校含む）、高等学校生（高専含む）の奨学生に対しては、2回/年の奨学金支給時期に面談し指導を行いました。

63名 16,100,000円

| | | | |
|----|-----------------|----|---------------|
| 対象 | ①大学生 | 年額 | 36万円/人 |
| | ②短大生（専門学校含む） | 年額 | 24万円/人 |
| | ③高等学校生（高専含む） | 年額 | 18万円/人又は9万円/人 |
| | ④東京日本語教育センター在校生 | 年額 | 10万円/人 |

(2) 理工系大学院生特別奨学金

理工系大学院生に対する奨学金の給与を行いました。

採用後、10月と2月に報告会を実施しその際指導も行いました。

上智大学 2名

電気通信大学 2名

東京理科大学 3名

7名 9,900,000円

対象 本財団が指定する東京都内の大学院の理科学系の博士前期課程（修士課程）又は後期課程（博士課程）の学生等。

年額 180万円/人

(3) 育英事業費助成金 275,000円

2. 社会福祉事業への助成 合計 7,226,363円

(1) 社会福祉事業助成金（心身障害者・老人及び児童福祉事業等を支援）

主に東京都福祉保健局、東京都社会福祉協議会・東京ボランティア市民活動センター、東京都手をつなぐ育成会（東京都知的障害者育成会より名称変更）等より推薦され、申請してきた24の団体・施設や品川区社会福祉協議会（介護用紙おむつ支給事業）等へ助成を行いました。

6,946,363円

対象 障害者（就労支援・生活介護等）、老人（地域とのつながり支援等）、児童（自立支援・家族滞在施設等）、一般社会（シェルター事業等）等。

(2) 福祉手当 2名 280,000円

3. 伝統芸能事業への助成 合計 2,347,000円

芸術文化に対する助成として、特に能・狂言・邦楽（主として古曲）等の伝統芸能の振興を目的とした事業へ助成・寄付等を行いました。

4. その他経費（給料手当） 合計 1,823,557円

II. その他事業 総額 5,388,754円

学生論文「昭和池田賞」

第37回学生論文「昭和池田賞」は30編の応募があり、審査の結果、優秀賞3編が選ばれました。入選者の贈賞式は平成30年7月19日に東京で行いました。

なお、選にもれたそれ以外の適格応募者には努力賞として記念品を贈呈しました。

優 秀 賞 （賞金20万円と当財団規定の奨学金） 3名

徐 莎莎氏（東京大学大学院総合文化研究科 博士研究生1年）

山田 瑞季氏（立命館大学 経済学部3年）

グエン ティ トウイ氏（同志社大学 経済学部2年）

以上